

第 52 回男女共同参画会議議題に関する意見

横浜市長 林 文子

「男女共同参画・女性活躍の推進に向けた重点取組事項」について、以下のとおり意見を提出いたします。

企業における女性の参画拡大に向けた取組の推進について

○平成 29 年度、横浜市は国と共催で、役員候補等の女性リーダー育成プログラムを試行しますが、このプログラムを受講したリーダー候補が、実際にその地域で活躍することが重要と考えます。そこで、受講者を横浜市内企業にご紹介するなど、今後のネットワークに繋がりたいと考えています。国におかれましては、今後各自治体が自ら役員候補の育成プログラムを実施できるなど、女性活躍の施策に活かせるような成果の提供をお願いします。

○また、役員の育成に加えて、指導的地位に女性が占める割合 30%の早期実現に向けても、支援が必要です。横浜市では市内企業で働く女性が管理職を目指すためのセミナーを実施し、ロールモデルの創出やネットワークの構築に繋がっています。特に中小企業における女性活躍の場を広げるためにも、指導的地位に女性が占める割合 30%に向けての中小企業に対する支援の強化に取り組んでいただくようお願いします。

国際的な取組の推進について

○横浜市は、今月横浜で開催されたアジア開発銀行の年次総会において、女性活躍推進セミナーを開催し、さらなるアジアの発展のために、いかに女性の登用を推進していくかについて議論しました。

○横浜市は横浜女性ネットワーク会議を毎年開催しており、これは WAW! のサイドイベントにも位置づけられていますが、28 年度はフィリピンの女性起業家をお招きし、日本の女性起業家との交流により互いの視座を高めあいました。また、アフリカ開発会議の横浜開催を契機に、「日アフリカ・ビジネスウーマン交流プログラム」を毎年実施して、日本とアフリカの女性起業家同士の交流や横浜市の女性活躍支援の取組を紹介し、アフリカ各国の政府の女性活躍の推進に活用していただいております。

○横浜市はかねてから、国際事業を戦略的に展開し、都市の成長につなげていくために、「横浜市国際戦略」を策定し、国際交流や国際貢献を行っています。今後もアジア各国の若年層とジェンダー等の視点も含めた国際交流を実施していきます。

○経済活動がグローバル化している現在、国だけでなく都市間でも積極的に国際交流を行い、包括的な女性活躍を推進していくことに、大きな意義があります。住民生活と地域経済に即した実効性ある施策を推進していくうえでも、各都市の取組への国のご協力をお願いします。